

格で各地の研究会に出席指導したにすぎなかつた。今後は専任教師主事の指導のもとに幼稚園教育は一段と充実し発展すること、思う。

現在県が主催して毎年県下を三、四の地区

に分けて研究中心園をつくり、その園を中心

に協力体制を整えて、一ヶ年間又は二ヶ年間

継続で研究をつづけられている。

各都市には又別に民主的な研究会をもち、幼稚園、保育園が一体となり研究の交換を行つてゐる。

又日教組岡山県支部としては、小、中、高等学校と歩調を合せ、講師の指導のもとに研究がなされ、今年度は坂元彦太郎先生と岡秀先生が幼稚園部の講師を担当されている。

そのほか岡山県保育会、関西聯合保育会等々の研究機関並に各種の講習会等のあることは、他県ともかわりないところである。

◇おわりに◇

岡山県保育界の今昔についてかくようにと
の倉橋先生のお言葉により、柄にもないこと
と知りながらお受けはいたしましたもの
拙ない筆に加えて、文献、記録の殆んどは

襲で失つておりますので、これは尚更むずかしい仕事でございました。先輩諸先生方の御協力をいたゞき、記憶をたどつたり、文献記録の蒐集に努めましたが、岡山市に住み、岡山の幼稚園に終始しました井戸の中の蛙の私で

(20頁から)

すううと鼻が通るのである。これは赤外線の中でも波長の長いものが、皮膚の奥深いところの神経の末端を刺激するため、その反射で鼻の粘膜にある毛細血管が充血するためとわかつた。

なおビタミンDがコレステリンから転化することは、人間のような皮膚では理解できるが、羽のある鳥や毛のある獸ではどんなになつてゐるだろうか。紫外線

は毛や羽に附着している油性の分泌物の中にいるエルゴステリンを転化し、それを動物がからだの表面をなめまわして口に入れ、さらに腸に行つて吸収されると説明されている。いろいろな鳥や獸が、からだをなめまわしているしぐさが、約三十年前に紫外線とビタミンDとの関係

ありますので自然岡山市が中心となり、幼稚園のことが主になつてしまひましたことをおわび申上げます。

(岡山大学教育学部附属幼稚園)

を明らかにした研究によつて意味づけられた次第である。

目の明るさを表わす単位は、ランバトというが、月は〇・二五 快晴の天空は〇・四 ガス入りタンクステン線電球は一六〇から三〇〇 正午の太陽は実際に一〇〇〇〇〇から一〇〇〇〇〇である。われわれは結局みんな光の子なのである。

(東京大学教授医博)